

# 安全・防爆事業

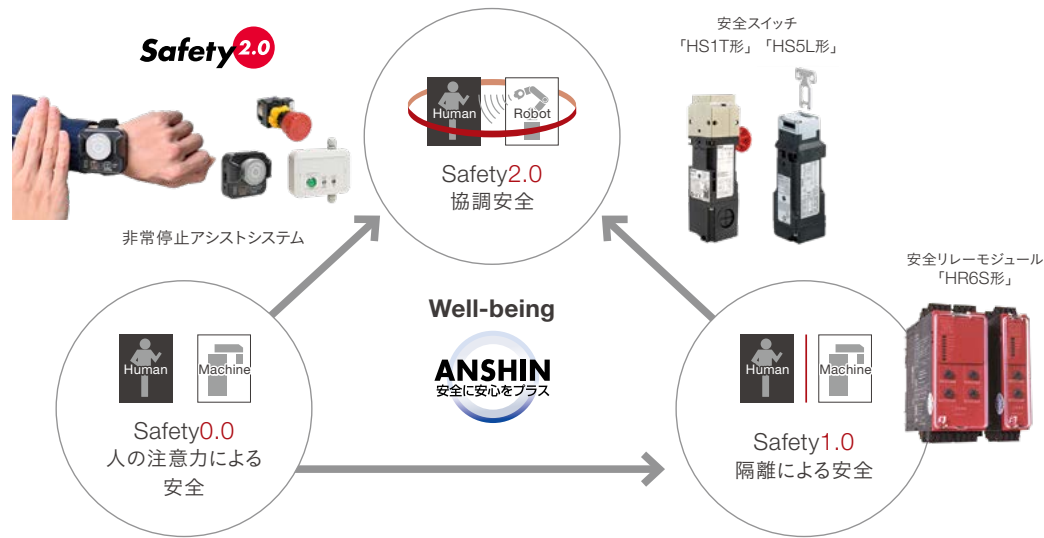
## 重点取組施策

### 安全性と生産性向上に役立つソリューションを提供

創業以来、人と機械の最適環境の創造を目指して、さまざまな製品やサービスを世に送り出してきました。その中でも、機械設備を使う際のリスクを低減する安全関連機器や、可燃性のガスや液体などが存在する場所で安全に使用できる防爆関連機器の開発・提供を行うことで、作業者の安全と生産性向上の両立に貢献しています。こうした「人の命を守る」製品を開発・提供する企業として、安全・安心を実現する多様な製品やソリューションを社会に提供することで、世界一安全・安心・ウェルビーイングを追究・実現する企業を目指しています。

### 協調安全(Safety2.0)のリーディングカンパニー

安全の考え方は、人の注意力や判断力により安全を確保してきたSafety0.0に始まり、機械に安全対策を施し隔離と停止による安全化を図るSafety1.0、そして近年では人と機械が協調し、安全と生産性の両立を実現する、協調安全(Safety2.0)へと時代と共に変遷してきました。IDECでは「安全」だけでなく、「安心」も提供できるような製品開発を進めており、現場の作業者のみならず、誰もが健康で、幸せに、生き生きと暮らすことができる社会を実現するため、社会全体のウェルビーイングの向上を目指しています。



## 現場の安全・安心を追究

生産現場の自動化の推進や、労働安全意識の高まりにより、安全関連機器は中国を中心としたグローバル市場で拡大しているため、多様な新製品を投入しています。

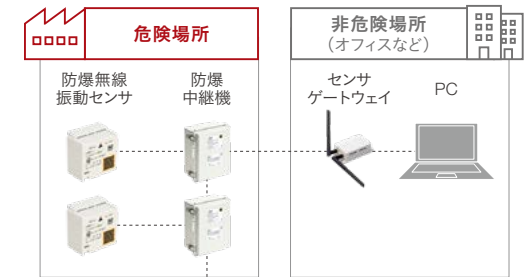
2023年12月に、IDEC独自の安全構造を採用し、新しい安全規格ISO 13850に適合した、短胴の非常停止用押ボタンスイッチを発売しました。2024年1月には、AGV・AMRなどに設置されている、非常停止用押ボタンスイッチを直接押せない場面でも、無線で遠隔操作できる「非常停止アシストシステム」を発売し、人とロボットが協働する現場をサポートする「ANSHINセンサ」もラインアップしています。



## IoTで防爆エリアの設備や機器の予知保全を実現

石油プラントや化学工場などの防爆エリアでは、設備の老朽化に加え、人手不足や熟練技術者の減少により、保守が十分に実施できないといった課題があります。IDECでは、IoTにより現場の作業効率化を実現するための各種製品をラインアップしています。

本質安全防爆構造の無線振動センサは、無線ネットワークを通じて設備故障の予兆を計測することで「予知保全」を可能にします。防爆中継機やセンサゲートウェイと合わせて使用することで、広大な敷地に点在する設備の保守・メンテナンスに関わる時間や工数を大幅に削減し、遠隔監視を実現します。



## 担当者の声



### 中国市場における安全ビジネスの展開と課題

愛徳克電気貿易(上海)有限公司 戦略営業部 刘波

中国の工業オートメーション市場では、安全性と防爆製品の普及が課題となっており、お客さまの製品に関する知識もまだ十分とはいえない状況です。そのため、マーケティング・キャンペーンの強化によるブランド認知度の向上や、技術サポート・トレーニングの提供、適切な価格戦略などを推進し、市場ニーズや需要を踏まえて製品・サービスを最適化することで、より信頼性が高く、効率的な安全・防爆ソリューションをお客さまに提供しています。